

2016 年度活動報告 CJP 授業：聴解 B

中野 陽（関西学院大学日本語教育センター）

1. クラス概要

日本語のニュースが大まかに聞き取れるようになることを目標としたクラスで、午後の選択クラスのうちの1つであった。

主に現代日本プログラム日本語専攻コースで学ぶ日本語学習者（3レベルから6レベル）を対象に週に1コマ（90分）開講した。教科書は用いず、毎回、日本の大手テレビ局がWEB上で公開しているニュースを見て、そこから関連語彙やニュースに特有の表現などを学んだ。また、学期後半には学生に自分の興味を持ったニュース内容を他の学生に伝えるという発表も1人に1回課した。

2. 授業内容

授業で扱うテーマは「経済指標」「裁判」「事件」「不祥事」に絞り、全部で8つのニュースを見た。学生の事前作業、授業の流れは次のとおりであった。①学生は、事前に教師から指示されたURLでニュース（1分前後のもの）を視聴し、その中で分からなかった表現、感じたこと、他の学生と議論したいことを書いてくる②授業で教師、他の学生と一緒に視聴し、内容理解のためのタスク・ニュース内容に関するグループディスカッションを行う③そのジャンルのニュース特有の表現を学ぶ。

ニュース発表は1人につき1回とし、5分程度で自分の選んだニュースをまとめ、PPTスライドを使って全員に説明し、さらに自分の意見も述べた。視聴側になった学生は「発表視聴シート」に、ニュースのポイント、発表の簡単な評価やアドバイス、また発表者の意見に対する自分の意見を書いて提出した。

3. 成果と今後の課題

ニュース視聴の流れを上記のようにしたことで、聴解力に自信のない学生も自分のペースで音声を聞いたり言葉を調べたりすることができ、教師も学生の疑問点を事前に把握できるため解説の効率が上がり、クラス全体としても視聴後の議論が活発で深いものになった。また、学生によるニュース発表については教師がモデル発表を行ったことで、どの学生も情報の量、質ともに適切な発表がなされ、さらに教師ではなく学生自身が選定したニュースであるため発表側・視聴側双方が高いモチベーションで取り組むことができ、授業アンケートでもおおむね好評であった。ただし表現の導入・練習に使う時間が長くなりすぎた反省もある。今後は導入内容をさらに取捨選択し、ニュースの視聴練習時間をさらに充実させたい。